

2019年神奈川県生協大会を開催

一人ひとりが大切にされる社会を～「分かち合う」こと「助け合う」こと、そして「ともに生きる」ことを～

神奈川県生協連では、その時代の風も受けながら、「暮らしにとって重要なテーマを深める場」「交流と発信の場」として、1969年から毎年、生協大会を開催しています。

今年は、引き続き「一人ひとりが大切にされる社会を」を基調として、「貧困格差」「分かち合う」こと『助け合う』こと、そして『ともに生きる』という2つの活動テーマを共有し深めました。

地域にまなざしを向ければ、さまざまな点で強く社会の劣化とほころびを感じます。人は一人ひとりが、かけがえのない存在です。私たちは誰一人として「よけいなもの」として排除したり、排除されたりすることのない社会、分け隔てされることのない社会を願います。協同組合は、一人ひとりの願いを協同の力で実現する場、弱者に目を向け、助け合うことができる実践の組織です。助けあいの組織である生協が、どのような社会を将来の子どもたちに残していけるのか、その事が問われています。

■ 日 時 / 2019年10月23日(水) 10:00～13:00 (開場:9:30)

■ 会 場 / ワークピア横浜 横浜市中区山下町24-1 電話045-664-5252

■ 主 催 / 2019年神奈川県生協大会実行委員会(元木 朱美 委員長)

実行委員会構成(うらがCO-OP、ユーコープ、ナチュラルコープ・ヨコハマ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協・神奈川、福祉クラブ生協、やまゆり生協、全日本海員生協、富士フィルム生協、医療生協かながわ、神奈川北中央医療生協、神奈川みなみ医療生協、川崎医療生協、神奈川大学生協、神奈川県労働者共済生協、労協センター事業団神奈川事業本部、神奈川県生協連)

■ 参加者 / 29団体、301名

■ 友情出演 / コーすけ(コープ共済連)、こんせんくん(パルシステム神奈川ゆめコープ)、ピンキー(労働金庫)、ハグみちゃん(生活クラブ共済)、ピットくん(こくみん共済coop)

■ 後 援 / 神奈川県

■ 内 容 / 司会：桜井 薫 2019年神奈川県生協大会副実行委員長(生活クラブ生協・神奈川)

主催者挨拶：當貝 伸一 神奈川県生協連 代表理事会長

ご来賓挨拶：吉坂 義正 神奈川県労働者福祉協議会 会長

長嶋 喜満 神奈川県農業協同組合中央会 代表理事会長

基調講演：「一人ひとりが大切にされる社会を」

講師 稲葉 剛 さん

(一社)つくろい東京ファンド 代表理事

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 特任教授

1分間スピーチ(展示コーナーアピール)

活動報告：

①『分かち合う』こと、『助け合う』こと、そして『ともに生きる』こと

藤田 誠 (公社)フードバンクかながわ 事務局長

②「貧困格差」～労協センター事業団の出発と歩み～

鳴海 美和子 労協センター事業団神奈川事業本部 事務局長

中締め挨拶：元木 朱美

2019年神奈川県生協大会実行委員長(パルシステム神奈川ゆめコープ)

展示ブースをまわって交流

展示：実行委員団体、中央労働金庫、神奈川県農業協同組合中央会、神奈川県漁業協同組合連合会、(公社)フードバンクかながわ



第53回 神奈川県原爆死没者慰霊祭 2019年追悼のつどい

広島・長崎への原爆投下から74年が経ちました。74年前の8月6日8時15分、そして9日11時2分。無差別大量殺戮兵器である原子爆弾が市民の囂上に投下されました。被爆者は、「核戦争を起こすな、核兵器をなくせ」、「ふたたび被爆者をつくるな」と訴え続けてきました。しかし、ピキニ水爆実験での被爆、JCO臨界事故、福島原発事故と核による被害は続いています。もうこれ以上核の惨事を繰り返してはなりません。

2017年7月7日に国連で核兵器禁止条約が122か国の賛成で採択されました。現在、署名は79か国、批准は33か国。あと17か国の批准があれば核兵器禁止条約は発効します。

いつの時代も、不可能を可能にしてきたのは諦めなかった人々でした。今は核兵器廃絶を実現する時代です。神奈川の生協は神奈川県原爆被災者の会の皆さまと意思を一つにして、共に「すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求める」ヒバクシャ国際署名をこれからも広げていきます。

- 日時／2019年9月29日(日) 10:00～12:00
- 会場／鎌倉市 大船観音寺境内
原爆慰霊碑
- 主催／神奈川県原爆被災者の会

■ 慰霊祭

- 開式
- 司会 神奈川県原爆被災者の会 木本 征男 副会長
- 黙祷
- 合祀者名簿奉読 陣川 幸子さん
- 導師入場
- 読経
- 献水 神宮 弘道さん、木戸 キク子さん
- 献花 遺族代表 柴田 實智子さん
- 導師退場
- 閉式

■ 追悼の集い

- 開会
- 司会 神奈川県原爆被災者の会 木本 征男 副会長
- 主催者挨拶ならびに追悼のことは
神奈川県原爆被災者の会 丸山 進 会長
- 来賓追悼のことは
来賓紹介 神奈川県原爆被災者の会 東 勝廣 事務局長
- メッセージ披露 福島 富子さん
- 遺族代表挨拶 松本 正さん
- 折鶴献納 新井 勝子さん
- 歌と演奏
- 閉会



職域研究会・大学部会合同企画

宇宙科学研究所生協・麻布大学生協視察研修

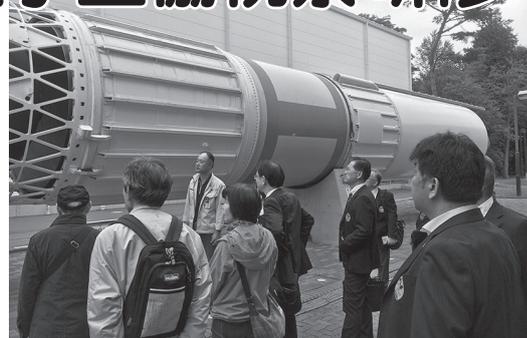
県生協連職域研究会(座長:金子茂・富士フィルム生協)と大学部会(部会長:小倉克巳・横浜国立大学生協)は、互いの組織や先進的な取り組みをしている生協・企業から学び、事業と活動に生かすことを目的に、年1回、合同視察研修を行っています。

宇宙科学研究所では、宇宙科学探査実験棟と宇宙科学探査交流棟を、麻布大学では、「いのちの博物館」を見学し、麻布大学生協の食堂において、宮下武志・宇宙科学研究所生協専務理事と木村厚司・麻布大学生協専務理事より、それぞれの生協の事業について報告を頂き、質疑応答と意見交流がされました。

- 日 時／2019年10月17日(木) 13:00～17:00
- 会 場／宇宙科学研究所(JAXA)、麻布大学

■ 参加者／11名

富士フィルム生協、全日本海員生協、日本生協連、横浜国立大学生協、慶應義塾生協、宇宙科学研究所生協、麻布大学生協、全国大学生協連東京ブロック、神奈川県生協連



2019年度 第3回 理事会報告

- 日時／2019年9月17日(火) 14:00～15:00
 - 会場／こくみん共済coop神奈川推進本部 5階 特別会議室
- 【協議事項】 1. 神奈川県生協連2020年賀詞交歓会について



神奈川まるごと健康づくり

☆「健康」はすべて人の願いです。フレイルを予防するための重要なポイントは「栄養(食・口腔機能)」「運動」「社会参加」です。年に一度は検診を受診し、結果を受けて改善の目標を作り、実践し、また翌年、検診を受診するという「健康のサイクルに取り組む」ことは健康づくりの土台です。「健康チェック」「健康チャレンジ」をこのサイクルの中で役立てていきます。

☆医療福祉生協の8つの生活習慣と認知症予防などの項目を基本にしなが、健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばすさまざまなきっかけづくりを行います。

☆生協や協同組合はもちろんさまざまな団体と連携を深め、世代を超えて楽しく健康づくりに取り組める場をたくさんつくり、神奈川まるごと健康づくりをめざします。

☆神奈川まるごと健康づくりは、組織の枠を超えたつながりづくり、生協自身の健康づくりにもつながっています。

2019 健康チャレンジ

健康づくりは、思ってもなかなかきっかけがないと始めないもの。ぜひこの機会にいかがですか。「いつも出来ていないことを一つ。この機会に。」ウェブ版は神奈川県生協連のHPにバナーが貼ってありますので、そこからお入りください。



QRコード

組合員による健康づくり・健康チェック

★ユーコープ湘南台店(藤沢市) 10月6日(日)

- 健康チェック参加/19名
新規14名: 男3名(52歳~85歳) 女11名(41歳~81歳)
再 5名: 男1名、女4名
- 測定運営/9名

★ユーコープ片倉店(横浜市神奈川区) 10月27日(日)

- 健康チェック参加/45名
新規35名: 男8名(48歳~82歳) 女27名(28歳~83歳)
再 10名: 男2名、女8名
- 測定運営/9名

人づくり 健康づくりリーダー養成講座

★10月9日(水) 14:00~17:00

- 修了者: 4名(パルシステム神奈川ゆめコープ)
- 講師: 石田 昌美 神奈川県生協連 統括マネージャー

人づくり 健康づくりリーダー交流会・フォローアップ研修

★10月28日(月) 14:00~16:00

参加者: 37名(福祉クラブ生協、パルシステム神奈川ゆめコープ、富士フィルム生協、川崎医療生協、神奈川県生協連)

- ①交流会: 講話と6グループでの意見交換
講師: 石田 昌美 神奈川県生協連統括マネージャー
・健康チェックをして、困ったこと
・健康チェックをして、喜ばれたこと
- ②フォローアップ研修: 「気軽にできる筋力アップ」「健康寿命」を伸ばすために
講師: 川崎医療生協 運動トレーナー 小松 厚志さん
講話と実技



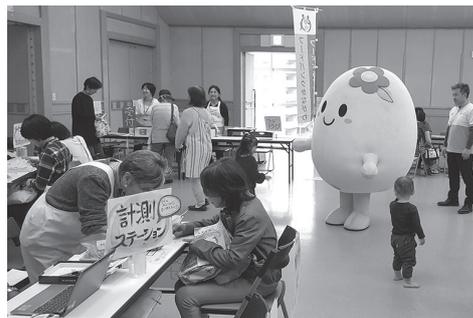
～あなた知ってた？ 知らなきゃもったいない！生活クラブのたすけあいが大集合！～ たすけあいフェス湘南に健康チェックで参加

湘南生活クラブにおいて「たすけあいフェス湘南」が開催され、健康チェックで参加しました。

- 日時／2019年10月17日(木) 10:00～14:00
- 会場／茅ヶ崎市コミュニティーホール
- 主催／湘南生活クラブ生協
- 内容／
 - ★食べ物とアレルギーのお話講座
 - ★ひとに聞けない!いまさら聞けない!葬儀のあれこれ講座
 - ★親子テーブルゲーム
 - ★指ヨガ
 - ★せっけんデコパージュ
 - ★計測ステーション
 - ★フードライブ
 - ★カフェ
 - ★福祉たすけあい基金
 - ★生活クラブ共済ハグくみ
 - ★エコロプラス
 - ★エコロプラス川柳の募集

神奈川県生協連は、計測ステーションに参加し健康チェックを行いました。

- 健康チェックの参加者：68名
 - 新規 61名：男2名(46歳)、女59名(30歳～78歳)
 - 再 7名(男1名、女6名)
- 測定者：11名(湘南生活クラブ、ユーコープ、県生協連)
- 測定項目：
 - 体重、BMI、体脂肪率、筋肉量、体内水分量、基礎代謝、血圧、ストレス・リラクセス度、血管年齢、握力、足指力、呼気圧
- 測定使用機器：血圧計、ストレス計、体組成計、握力計、足指力計、呼気圧計



横浜市生協運営協

第21回神大フェスタに出展

秋は大学祭の季節。今年も神大フェスタに横浜市生協運営協議会(代表:渡邊敬弓・ユーコープ)が「クイズ」と「健康チェック」で参加しました。

- 日時／2019年11月2日(土)、3日(日)
- 会場／神奈川大学横浜キャンパス(横浜市神奈川区六角橋3-27-1)
- 主催／神大フェスタ実行委員
- 後援／神奈川大学後援会、(一社)神奈川大学宮陵会、神奈川大学
- 内容／横浜市生協運営協は11月3日(日)に参加
 - ・消費者クイズ(契約に関する悪質商法にだまされないためのクイズ)
 - ・生協クイズ(横浜市生協運営協で活動する生協のロゴやキャラクター当て)
 - ・医療生協かながわの協力による健康チェック(血圧や体組成計による測定等)
 - ・横浜市消費生活総合センターの啓発グッズに悪質商法撲滅啓発チラシ、生協のお菓子詰め合わせのプレゼント



【横浜市生協運営協構成】

ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、横浜北生活クラブ生協、横浜みなみ生活クラブ生協、医療生協かながわ、こくみん共済coop神奈川推進本部、神奈川大学生協、横浜国立大学生協、横浜市立大学生協、明治学院消費生協、慶應義塾生協

かながわ消費者週間への展示参加しました



神奈川県では、神奈川県消費生活条例の前身である「神奈川県県民生活安定対策措置条例」(1974年10月16日制定)が、20周年を迎えた1994年10月より、毎年10月の第2土曜日から1週間を「かながわ消費者週間」と定め、この前後の期間に消費者被害の未然防止に向けて、イベントなどを開催しています。

神奈川県消費者団体連絡会、神奈川県生協連は主旨に賛同し、出展参加しました。フードロスがテーマの展示企画で、フードドライブも行われました。

- 期間／2019年10月18日(金)～30日(水)
- 会場／かながわ県民センター 1階 入口左側